「ピースアクション in ヒロシマ 広島平和の旅」の様子

8 月 4 日（火）～6 日（木）、広島・長崎両県生活協同組合連合会と日本生活協同組合連合会共催「ピースアクション in ヒロシマ　広島平和の旅」に参加しました。その詳しい様子をレポートします。

（1）　開催概要

① 日時 ： 2026 年 8 月 4 日（火）～6 日（木）

② 開催テーマ ：『被爆 81 年「戦争も核兵器もない平和な世界」の実現を!!～受け継ごう・未来につなげようヒロシマの心を～』

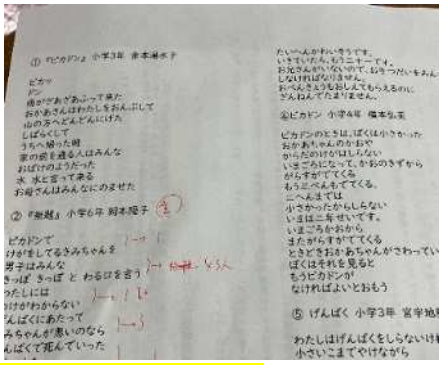
（2）　企画概要

| 8 月 4 日(火) | |
|---|---|
| 13:20～14:50 | 【参加型朗読会】　「演劇集団」ふらっとによる被爆した子どもたちが書いた原爆詩の参加型朗読会 |
| 15:20～16:40 | 被爆の証言をきく　田中聡司さん |
| 17:30～18:40 | 生協平和のまち歩き |

## ●「演劇集団」ふらっとによる原爆詩の参加型朗読会

朗読会では、被爆当時の子どもたちの率直な思いや苦しみ、そして平和への願いが込められた詩を参加者全員で読み上げました。ひとつひとつの言葉は難しいものではありませんが、実際に声に出して読むことで、その重みや悲しみがより強く胸に伝わってきました。特に、子どもならではの視点で描かれた平和への思いや日常を失った悲しみには心を打たれました。教科書や映像で学ぶのとは違い、自分自身が朗読に参加することで、当時の子どもたちの気持ちに少しでも寄り添えたように感じました。

また、参加者のみなさんと声を合わせて詩を読むことで、被爆の記憶を未来へ語り継ぐことの大切さを改めて実感しました。戦争や核兵器の恐ろしさを忘れず、平和な社会を築いていくために、自分に何ができるのかを考える貴重な機会となりました。

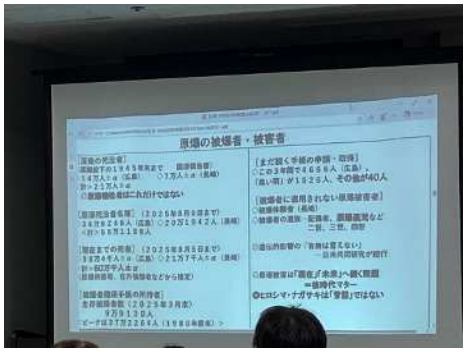


「演劇集団」ふらっとによる原爆詩の参加型朗読会

## ●被爆証言を聞く：田中聡司さんの講演

田中聡司さんの被爆証言を聞き、原爆の惨状や被爆者の苦しみが決して過去の出来事ではなく、今も続いている問題であることを強く感じました。田中さんは 1 歳 5 カ月のときに被爆し、多くの家族や親族を失われました。また、その後も差別や偏見、健康不安と向き合いながら生きてこられたことを知り、被爆者の苦労の大きさに胸が痛みました。

特に印象に残ったのは、被爆者であることを隠して生活していた田中さんが、記者として取材を重ねる中で考え方を変えていったという点です。大学時代には原爆に対する偏見に傷ついた経験もありましたが、その経験を乗り越え、自ら新聞記者として被爆の実相を伝える立場になったことに大きな勇気を感じました。
また、私たちが平和な社会で暮らしているのは、多くの被爆者の方々が体験を語り継ぎ、平和の大切さを訴え続けてきたおかげだと感じました。戦争や核兵器の恐ろしさを正しく理解し、その経験を次の世代へ伝えていくことが私たちの責任であると思います。




田中聡司さんの講演

## ●生協平和のまち歩き（生協ひろしま　碑めぐりボランティアガイドによる）

ボランティアガイド（生協ひろしま碑めぐりガイドの会）による案内で、8 月 6 日平和記念式典の準備が進む広島平和記念公園内の主な慰霊碑や遺構をめぐり、被爆の実相や平和への思いを学びました。
燃料会館では爆発の瞬間、地下に書類を取りに降りていた野村英三さんだけが生還を果たし、地上にいた人々は犠牲となったそうです。階段を下りた先にある薄暗い地下室の壁には、当時の火災によるすすが今も残り、生々しい 80 年前の時間の経過を現在も感じることができました。
原爆死没者慰霊碑には「安らかに眠って下さい　過ちは繰返しませぬから」という言葉が刻まれており、多くの尊い命が失われた歴史の重みを感じました。

燃料会館地下室へ続く階段

原爆死没者慰霊碑

| 8月5日(水) | |
|---|---|
| 9:00～12:00 | アニメーション映画「この世界の片隅に」鑑賞 |
| 13:00～16:30 | 虹のひろば　第一部：虹のステージ<br>第二部：みんなのひろば　エフコープブース出展 |
| 17:00 | 平和記念公園　千羽鶴の献納 |

## ●アニメーション映画「この世界の片隅に」鑑賞

絵を描くのが好きな主人公すず。広島市と嫁ぎ先の呉市を舞台に、戦禍でくらしが厳しくなる様子や配給が乏しくなる中での食事の工夫や衣類のリメイクなど日常を一生懸命生きています。米軍が落とした「時限爆弾」の爆発により、姪は即死、すず自身も右手を失います。そして、原爆による両親の死と原爆症で苦しむ妹の姿、最後は出会った戦争孤児（女児）を呉に連れて帰り、家族で受け入れる様子が描かれていました。

アニメーションならではの柔らかい表現で時代の流れが進むため、日常に忍び寄ってくる戦争の残酷さとその現実が心に強く突き刺さりました。私たちが今送っている「当たり前の日常」がいかに尊く、平和への思いを大切にし、戦争や核兵器のない世界を願わずにはいられない作品でした。

## ●虹のひろば（虹のステージ・みんなのひろば）

| 開場：12:00 | | |
|---|---|---|
| 12：00～ | 60分 | 受付開始　※受付後入場可能。 |
| 第1部：虹のステージ 13:00～15:15　※オンライン配信あり | | |
| 13：00～ | 10分 | オープニング<br>広島修道大学ダンス部(予定) |
| 13：10～ | 15分 | 広島・長崎市長ご挨拶・主催者挨拶 |
| 13：25～ | 60分 | 「星は見ている～原爆でわが子を亡くした父母らの手記より～」<br>朗読　紺野美沙子 |
| 14：25～ | 8分 | NPT再検討会議参加報告（予定） |
| 14：33～ | 7分 | ２０２６ヒロシマこども平和宣言<br>～　わたしたちからのヒロシマアピール　～ |
| 14：40～ | 15分 | 虹のひろば合唱団 |
| 14：55～ | 05分 | 第1部終了あいさつ |
| 15：00～ | 15分 | 安田女子高・大の書道パフォーマンス |
| 第2部：みんなのひろば　※オンライン配信なし | | |
| 15：15～ | 75分 | みんなのひろば　開始 |
| 16：30 | | 虹のひろば終了 |

【第 1 部：虹のステージ】
高校生による第 11 回 NPT 再検討会議への平和首長会議ユース派遣の報告では、国際社会ですべての国の合意を得ることの難しさや、核廃絶の理想だけではなく国際情勢や安全保障などの現実にも目を向ける難しさなどを学び、小さくても確かな一歩を積み重ねながら平和活動に取り組むことの大切さなどを感じた報告がありました。高校生たちの発表から若い世代のとりくみがこれからの平和活動の心強い支えになっていくと改めて実感しました。また、紺野美沙子さんの凛とした静かな朗読は、原爆の残酷さと 14 歳で逝った子どもたちの無念さを生々しく引き立てます。悲劇を風化させないという強い祈りが声から伝わり、平和を語り継ぐ使命感を抱かせるすばらしい舞台でした。

【第 2 部：みんなのひろば】
今年のエフコープブースでは先日できあがったばかりの子ども平和新聞の配布を行いました。持ち込んだ被爆体験証言集 200 冊、子ども平和新聞 100 部、平和クイズ 50 冊全て配ることができ、エフコープの活動を多くの方に知っていただくことができ、被爆体験証言集や昨年から取り組んでいる子ども平和新聞への関心の高さも実感しました。また俳優の斉藤とも子さんにもお立ち寄りいただき、被爆体験証言集などエフコープのとりくみについてお話をすることができました。

俳優　紺野美沙子さんの朗読

エフコープブース

●千羽鶴の献納
虹のひろば終了後、「原爆の子の像」のそばにある折り鶴ブースにて、千羽鶴の献納を行いました。

参加者による献納

●平和記念式典に参加

今年は気温や体調を考え、国際会議場のモニター越しに平和記念式典に参加し、8 時 15 分の黙とうに合わせ会場を出ました。全員の黙とうの瞬間、ざわついていた会場がぴんと張り詰めセミの声が一段階大きくなった気がしました。黙とうの瞬間だけはこの雰囲気を体験することが大事だと思いました。犠牲者への思いを深め、平和の大切さを改めて考えさせてくれました。

国際会議場モニターで参加した平和祈念式典

●広島市内の碑めぐり（生協ひろしま　碑めぐりボランティアガイドによる）

※NHK 前「ヒロシマの火平和の灯」→白神社→旧日本銀行広島支店→袋町小学校平和資料館

NHK 前「ヒロシマの火　平和の灯」には「核兵器がなくなり、世界が平和になるまで燃やし続ける」という願いが込められていることを知り、多くの人が平和を願い続けていることに感動しました。また白神社の被爆樹木を見て、爆心地近くで被爆しながらも、長い年月を生き抜いてきた姿には強い生命力を感じ、とても心を打たれ、この樹木が当時の出来事を今に伝える「生きた証人」であることを知り、未来へ語り継いでいくことの重要性も感じました。私たちは戦争を経験していませんが、過去の出来事を忘れず、平和の尊さを次の世代へ伝えていくことが大切だと思いました。

NHK 前「ヒロシマの火　平和の灯」　白神社の被爆樹木